

施策評価調書 目標年度(27年度)実績

施策コード Ⅲ-2-(3)

政策体系	施策名	県民スポーツの振興	所管部局名	教育庁	長期総合計画(プラン2005)頁	129
	政策名	芸術・文化の興隆とスポーツの振興	関係部局名	教育庁、企画振興部、福祉保健部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	県民スポーツの推進基盤の整備	競技スポーツの振興	スポーツ文化の定着

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		目標年度(27年度)			目標達成度(%)							
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	25	50	75	100	125			
i	総合型地域スポーツクラブの創設数(クラブ)	①	H16	14	75	42	56.0%							
ii	県民すこやかスポーツ祭の参加者数(人/年)	①	H17	7,221	14,081	10,799	76.7%							
iii	プロスポーツチームの県内開催試合の平均観客動員数(人/年)	③	H22	14,599	18,500	9,731	52.6%							
iv	プロスポーツチームの県内小学校などの訪問箇所数(箇所/年)	③	H22	187	260	234	90.0%							

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	著しく不十分 県内全市町村に総合型地域スポーツクラブ(以下、「総合型クラブ」という。)を育成するという国の目標を既に達成しており、そのことが育成の鈍化につながっていると考えられ、目標の達成には至らなかった。今後は、旧市町村単位において総合型クラブがない地域での創設支援や各総合型クラブの活動範囲の拡大を図っていく。	著しく不十分
ii	著しく不十分 開催種目数はH26年度と同じ32種目であったが、例年400人規模の参加があるフォークダンスが九州大会のため開催できないなど、大会数がH26年度から6大会の減となったことから、目標の達成には至らなかった。	
iii	著しく不十分 大分トリニータの2015シーズンの成績不振により目標の達成には至らなかった。各チームとも、引き続き魅力あるチームづくりや県民との交流により観客増への取り組みに努めていく。	
iv	概ね達成 プロスポーツチームがそれぞれ独自に地域貢献活動に取り組んだ結果、目標値を概ね達成した。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①②	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型クラブ会員総数は、前年から776人増の16,866人に増加した。 ・県民すこやかスポーツ祭は、94会場で32種目を実施した。 ・ジュニアアスリートの選考会を実施し、育成の対象となる30名を決定した。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・県民に質の高いスポーツに触れる機会等を提供するためキャンプ誘致に取り組み、東アジアハンドボールクラブ選手権の開催やポルトガル陸上代表チーム、フェンシング代表8カ国等の大分キャンプが実現した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価
			総合評価
①	地域生涯スポーツ振興事業	7,503	E
②	チーム大分強化事業	171,999	C
	スポーツ大分パワーアップ事業	122,000	C
③	緊急雇用プロスポーツを活用した地域・人づくり推進事業	19,633	C

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第1回大分県長期教育計画委員会(H27.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期から運動習慣を確立するための取組が必要。 	
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	成果と今後の施策展開
C	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型クラブが全市町村に創設・育成されるなど、県民スポーツの推進基盤の整備が図られた。今後は、総合型クラブの未創設地域のある市町村において、地域住民によって主体的に総合型クラブが創設されるよう説明会等により普及啓発するとともに、既設の総合型クラブが未創設地域まで範囲を拡大して活動するよう積極的に働きかけを行うことにより、県民の誰もが生涯にわたって日常的にスポーツに親しめるよう、身近で利用しやすいスポーツ環境の整備を進めていく。 ・優秀選手の育成・強化や競技団体への支援、すぐれた資質を有するジュニアアスリートの早期発掘など、国体での天皇杯順位10位台の定着をめざし、競技スポーツの振興が図られた。今後は、発掘したジュニアアスリートを育成・強化し、安定した競技力の維持、向上を図っていく。 ・選手による学校訪問など地域に密着した取組により、県民がプロスポーツチームをより身近に感じ、チーム成績に係わらず地元チームを応援する機運が醸成されるなど、スポーツ文化の定着が図られた。今後とも各チームによる訪問活動を推進し、スポーツ文化の定着を図っていく。